

知の市場年次大会 化学生物総合管理学会・社会技術革新学会 春季討論集会（2019）

知の市場の年次大会と化学生物総合管理学会・社会技術革新学会の春季討論集会を合同で開催します。
企画テーマの下で講演と討論を行い、議論を深めることをねらいとしています。

日時 2019年2月1日(金) 13:15～18:35（受付開始 13:00）

会場 筑波大学東京キャンパス 4階 432会議室

東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅(出口1)より徒歩3分（東京都文京区大塚 3-29-1）

会場アクセスは、<http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/wp/location/>をご覧ください。

プログラム概要

記念講演：蝶ヶ岳における高山病診療と大学の社会貢献～北アルプスの診療所から見える風景

酒々井 眞澄（名古屋市立大学院医学研究科）

記念講演：企業におけるCSR活動に携わって

竹林 禎浩（住友化学(株) 生活環境事業部 開発部）

記念講演：ホルムアルデヒドの発がん性についての考察

見坊 直哉

一般発表：基礎研究のトリセツ ～こんな研究なぜするの？～

渡辺 華子（お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科）

一般発表：初めての就職先、短期決戦で決められる？ —イマドキ理系就活生の視点から—

前川 紗葵（お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科）

<プログラム詳細は、裏面をご参照ください。>

参加方法

★参加資格：学会の会員以外の方も参加できます。

★参加登録：事前登録制です。参加希望の方は、①参加者氏名（フリガナ）、②所属（勤務先等）、③懇親意見交換会参加有無の3点を明記のうえ、E-mail（kagakus*cbims.net）宛てにお申込みください。

★参加費・懇親意見交換会費：

学会員の方：参加は無料です。懇親意見交換会費は実費を現地（茗荷谷駅周辺を予定）にて徴収します。

非会員の方：参加費は1,000円です。1月25日（金）までに以下の口座にお振込み下さい。

懇親意見交換会費は実費を現地（茗荷谷駅周辺を予定）にて徴収します。

みずほ銀行飯田橋支店、普通口座 2329303、口座名 特定非営利活動法人 化学生物総合管理学会

※1 振込の際は、必ず参加者カナ氏名を振込み人名義として下さい。振込手数料はご負担ください。

※2 出欠にかかわらず、一度振り込まれた参加費の返金はいりませんので、予めご了承ください。

※3 領収書は発行いたしませんので、振込時のご利用明細票をご活用ください。

★参加証：振込の確認の後、開催日の前々日までにメールにてお送りいたします。

参加証は構内入構に必要ですので、プリントアウトしてご持参ください。

連絡先：化学生物総合管理学会事務局 kagakus*cbims.net（*を@に直して送信して下さい）

知の市場第10回年次大会 化学生物総合管理学会・社会技術革新学会 春季討論集会（2019）

日時：2019年2月1日（金） 場所：筑波大学東京キャンパス

時間	氏名（敬称略）	講演演題
13:00	開会挨拶 化学生物総合管理学会奨励賞授与式 知の市場奨励賞授与式 増田 優	
13:30 ~ 16:30	記念講演	
13:30 ~ 14:30	酒々井 眞澄 名古屋市立大学院医学研究科	蝶ヶ岳における高山病診療と大学の社会貢献 ～北アルプスの診療所から見える風景
	北アルプスの名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所はボランティア活動を通じた大学の社会貢献を目的とし1997年に蝶ヶ岳（2,677m）ヒュッテ内に設立された。少人数で始まった活動は現在では、毎年、学生80～100名、教員、卒業生など50～70名が参加するまでに成長している。そこで行われる診療、安全登山の啓発、高山病予防をめざした研究などを紹介する。	
14:30 ~ 15:30	竹林 禎浩 住友化学(株) 生活環境事業部 開発部	企業におけるCSR活動に携わって
	企業の社会貢献の一つとして感染症予防対策のために10年以上前より長期残効性防虫蚊帳を多くの国々に供給してきたが、その開発研究に担当者として実際に携わった経験を踏まえ、他製品の開発事例も含めて紹介する。	
15:30 ~ 16:30	見坊 直哉	ホルムアルデヒドの発がん性についての考察
	メラミン食器、洗浄野菜、河川からホルムアルデヒドが検出されると、新聞などのメディアで「発がん性のあるホルムアルデヒド」が検出されたと話題になる。勤めた企業では、1927年よりホルムアルデヒドを製造しているが、特に問題になったことがない。この「ホルムアルデヒドの発がん性」について考察してみる。	
16:30 ~ 16:35	途中休憩	
16:35 ~ 18:35	一般発表	
16:35 ~ 17:35	渡辺 華子 お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科	基礎研究のトリセツ ～こんな研究なぜするの？～
	就活、研究の両方を経験した学生の目線から、科学の基礎研究の社会的地位を再考する。基礎研究の中でも生物の進化という分野を例に、基礎研究と社会や一般の人との関わり方について提案する。	
17:35 ~ 18:35	前川 紗葵 お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科	初めての就職先、短期決戦で決められる？ —イマドキ理系就活生の視点から—
	多くの大学生の就職活動は卒業の約1年前から本格化する。現行のやり方で学生は納得のいく就職先を選ぶことはできるのか、2018年度に自分が就活を行った上で発見した課題をもとに提言を行う。	
18:35	閉会挨拶	
18:35 ~	懇親意見交換会（会費制）※茗荷谷駅周辺を予定	
	題名、発表順は都合により変更になる場合があります。	